

ぐるり39

～自治調査会だより～

2018
3

NO. 054

[発行日]
2018.3.1



【写真提供】武蔵野市 【撮影場所】中央通り「桜のトンネルライトアップ」

- ▶自治調査会の調査研究を振り返る～最近のトピックスとの関わりなど～…… 2
- ▶多摩地域データハンドブック～多摩地域主要統計表～2017(平成29)年版…… 4
- ▶オール東京 62 市区町村共同事業
みどり東京・温暖化防止プロジェクト市町村助成事業紹介…… 5
東村山市 住宅用太陽光発電システム設置費補助事業
国分寺市 環境学習(環境アドバイザー・セミナー・動植物調査)
新島村 新島村 LED 化事業

- ▶多摩交流センターだより
・多摩発・遠隔生涯学習講座3・4月開催予定の講座案内…… 6
・東京雑学大学4月講義案内…… 6
・TAMA市民塾 日曜講座のお知らせ…… 7
- ▶編集後記…… 7
- ▶とっておきフォトスポット 武蔵野市…… 8

Contents

3月の内容

公益財団法人

東京市町村自治調査会

自治調査会の調査研究を振り返る ～最近のトピックスとの関わりなど～

当調査会では、昭和61年（1986年）の設立以来、200件を超える調査研究を実施してきました。対象テーマは、多摩・島しょ地域の39市町村からの要望や昨今の行政課題を踏まえつつ、少し先の将来に重要課題となると考えられる事項を選定しています。

報告書は毎年度、39市町村へ送付しており、その活用方法は各市町村に委ねられています。それは、各々の市町村が置かれた状況は様々で、それぞれの実情に即した施策が必要だからです。

昨年度に引き続き「自治調査会の調査研究を振り返る」を掲載しています。今回は、情報発信を取り上げます。

自治体にとって、日頃行っている住民に向けた情報発信のあり方は、古くて新しいテーマと言えます。特に、近年、東日本大震災をはじめ、大規模地震が頻発する状況の中での緊急時における情報伝達のあり方や、東京オリンピック・パラリンピックを2年後に控えて増加傾向にある外国人・滞在者、そして高齢者・障害者などに対し、一層配慮した地域情報発信のあり方について、改めて考えるべき時期にきています。

そこで、本稿では、当調査会で情報発信を扱った過去の調査研究を振り返り、その内容が「自治体の情報発信」とどのように関わっているのかを明らかにします。そして、今後の当調査会が何を目指して調査研究を行っていくのかということについても紹介していきます。

1. 自治体広報と地域情報発信に関する調査研究（平成18年度）

平成18年度に実施したこの調査研究では、インターネットの普及などで情報の発信と取得の方法や市民の意識とニーズが多様化する中で、自治体広報のあり方や地域情報の受発信の可能性をまとめています。

報告書では、自治体広報がICTの発達により「一方的なお知らせ型」から「双方向コミュニケーション」に変遷していることなどに言及しています。そして、地域社会が、行政だけでなく、市民、NPO、自治会、町内会、企業、経済団体、公益法人など様々な主体が協力して築き上げる「協働の時代」に入ったことに着目し、多様な主体が情報や意見を交換する場としての「地域プラットフォーム」の構築を提案しています。

しかしながら、本調査時点では、インターネットの普及にかかわらず、行政情報などの入手手段は「市町村の広報紙」が約9割と突出し、依然として紙媒体が重要視されていました。こうした事実に対し、当時のインターネットの活用には多くの可能性と課題があったことが実感できました。

そのような状況の下、報告書では、今後、紙媒体と電子媒体との適切な役割分担を図りつつ、両者を一層充実させていくことの大切さを説いています。そして、情報発信に関する施策はいわばツールであり、その先には地域住民との「関係構築」という目的がある、ということを見定めながら、自治体広報のあり方もまた見直していくべきだと結論付けています。



2. 市町村におけるソーシャルメディアの活用（平成24年度）

平成24年度に実施したこの調査研究では、多摩・島しょ地域市町村におけるソーシャルメディア（FacebookやTwitterなどインターネット上の媒体）の導入状況や活動分野を明らかにし、今後の参考となるように導入の課題やソーシャルメディアを活用した「災害時の情報発信」、「プロモーション活動」、「住民との双方コミュニケーション」のあり方をまとめました。

本調査時点では、これらを導入済の自治体は約半数で、その活用分野としては「災害情報」が最多でした。平成23年の東日本大震災後にはこの経験が生かされ、社会の変化を見据えた自治体の情報発信方法が導入されて

いきました。

一方、インターネット社会の特性である匿名性や情報拡散力の強さ、早さを踏まえると、自治体では発信する情報を、慎重に取り扱う必要があります。このため、運用・利用についてのガイドラインや指針等の策定が求められます。ちなみに、多摩・島しょ地域ではこの時点で18自治体がソーシャルメディアを導入していましたが、ガイドライン等を策定しているのは7自治体に過ぎず、半数以上の自治体が明確なルールのない中で運用していたこととなります。したがって、ガイドラインのない自治体での早急な策定はもとより、すでに策定している自治体でも運用実態に合わせた見直しが必要になってきます。

また、ソーシャルメディアの活用を検討する際は、利用者の視点が重要であることも報告されています。

この視点は、実際にソーシャルメディアを使ってみないとわからないところもあり、実務担当者のみならず管理職を含めた職員の試験的利用も必要である、と報告書は締めくくっています。



3. 誰にも伝わる情報発信に関する調査研究（平成28年度）

平成28年度に実施したこの調査研究では、自治体職員が行政特有の表現や複雑な制度、専門的内容などを、誰にもわかりやすく伝えるための手法をまとめました。

現状では、自治体の取組と住民の感じ方には温度差があることが報告されています。このことは、多くの自治体で、情報量の削減や平易な用語の使用、デザインの工夫など、わかりやすい情報発信に努めていますが、住民の約4分の1が「わかりにくい」と感じていることから認識できます。そして、特に複雑な制度や専門用語のために、わかりにくさが一層増していることもわかってきました。

そこで、こうした現状から見えてくる課題を ①職員の取組意欲の向上 ②読み手の立場に立った文書の作成 ③取組を展開するための体制構築の3点を抽出し、これらに対する取組の提案をしています。

その内容は、①動機づけのための職員研修の実施 ②統一の方針や基準の策定 ③担当部署の明確化と推進体制の整備などとしています。

一方、わかりやすい情報発信は、住民からの苦情や問合せの減少につながることから、業務の効率化にも寄与する側面も持っており、自治体にとって有効な取組であることは間違いありません。

今後の社会を展望してみますと、外国人・高齢者・様々な障害者を持つ方々など、多様な人々との「共生」がポイントになります。このような共生社会での自治体の情報発信は、**シンプルで「やさしい」**がキーワードとなり、言わば**情報のユニバーサルデザイン**が新たに目指すべき方向になると考える、と報告されています。



4. 今後に向けて

以上、自治体の情報発信の変遷と今後の展望を見てきましたが、受け手である住民に十分に伝わってこそ、自治体の情報発信が意味を持つことから、これまで述べてきたように、双方向のコミュニケーションに加え、取組を展開する自治体内の体制構築が不可欠になります。

当調査会としては、ユニバーサルな情報の発信と伝達を実現する表現手法を探るとともに、職員の意識改革を促すなど、行政の現場である市町村がタイムリーに施策を展開できるように、引き続き「一歩先を見据えて」課題を発見し、調査研究に取り組んでいきたいと考えています。

本稿をお読みの皆様にも、改めて時代の変化に即応した自治体の情報発信のあり方について考えていただければ、これからの望ましい市町村行政の実現につながっていくのではないのでしょうか。

※本稿に紹介された調査報告書は、いずれも自治調査会ホームページ (<http://www.tama-100.or.jp/>)にてダウンロードできます。

多摩地域データブック ～多摩地域主要統計表～ 2017 (平成29) 年版

多摩地域データブックは、国や東京都が発行する各種統計資料から、多摩地域の各市町村に関するデータを収集し、まとめたものです(※)。3月下旬に発行を予定していますので、最寄りの市役所や町・村役場、図書館等でご覧ください。また、当調査会のホームページにも掲載します。

※平成29年版は、おおむね平成29年12月までに発表された統計データをまとめています。

～ 本書の構成 ～

各市町村別に、下記の項目を掲載しています！

I 人口・土地

年齢階層別人口
住宅地・商業地の公示価格の推移 など

II 産業

労働力人口
産業別の事業所数・従業者数 など

III 都市基盤

構造別の住宅数
各駅の乗車人員数の推移 など

IV 保健衛生・高齢者・福祉

年少・老年人口の割合
保育所の待機児童数 など

V 環境

農地の面積
総ごみ量、ごみの総資源化率 など

VI 教育・文化・市民活動

学校給食の実施状況
NPO法人数 など

VII 警察・消防・駅前対策

刑法犯の認知件数
駅前放置自転車の状況 など

VIII 選挙

各市町村長・議員選挙の投票率
国政選挙の投票率 など

IX 財政・窓口実績・職員数

市町村民税の課税状況
普通会計決算の状況 など

付表

所在大学・短大 など

<掲載例>

統計を通じて多摩地域に対する理解を深めるとともに、今後のまちづくりを考える上での基礎資料としてご活用ください！

VI-2 公立学校給食の実施状況

市町村名	小学校						年間予定給食回数		
	学校数	完全給食	左のうち		ミルク給食	未実施	低学年	中学年	高学年
			共同調理方式	親子方式					
八王子市	70	69		9		1	190	190	190
立川市	20	20	12				186	186	186
武蔵野市	12	12	8				193	193	193
三鷹市	15	15					195	195	195
青梅市	17	16	15			1	185	185	185
府中市	22	22	19				185	185	185
昭島市	13	13	8				185	185	185
調布市	20	20		8			183	190	190
町田市	42	42		1			185	185	185
小金井市	9	9					187	187	187
小平市	19	19					191	191	191
目野市	17	17					187	187	187
東村山市	15	15					192	192	192
国分寺市	10	10					188	188	188
国立市	8	8	8				189	189	189
福生市	7	7	7				192	192	192
狛江市	6	6					188	188	188
東大和市	10	10	10				192	192	192
清瀬市	9	9					187	187	187
東久留米市	13	13		8			185	185	185
武蔵村山市	9	9	9				192	192	192
多摩市	17	17	17				189	189	189
稲城市	12	12	12				190	190	190
羽村市	7	7	7				185	185	185
あきる野市	10	10	10				185	185	185
西東京市	18	18		9			189	189	189
瑞穂町	5	5	5				185	185	185
日の出町	3	3	3				186	186	186
檜原村	1	1	1				190	190	190
奥多摩町	2	2	2				189	189	189
多摩地域計	438	436	153	35		2	188	188	188
島しょ	15	13	10	3	2		190	190	190
特別区	827	827	2	21			194	194	193
東京都計	1280	1276	165	59	2	2	190	190	190



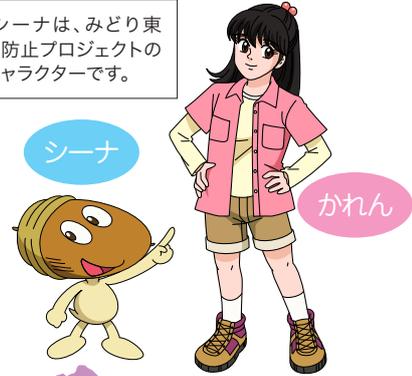
オール東京62市区町村共同事業

みどり東京・温暖化防止プロジェクト

市町村助成事業紹介

本プロジェクトでは、自然環境保護及び地球温暖化防止についての普及・啓発を目的とする市区町村の自主事業に対する助成を行っています。本助成を活用して多摩・島しょ地域の自治体で実施された事業を紹介します。

かれんとシーナは、みどり東京・温暖化防止プロジェクトのイメージキャラクターです。



① 東村山市

住宅用太陽光発電システム設置費補助事業

東村山市では、家庭から排出される二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス排出量の削減を目的に、太陽光発電システムを自宅の屋根に設置した市民を対象に「住宅用太陽光発電システム設置費補助」を行っています。

今年度は、多数の申請があり抽選となりましたが、再生可能エネルギーの利用により、環境負荷の低減を図る住宅が増えたことで、一定の成果があったと考えられます。

今後も、この補助制度を利用して太陽光発電システムの設置拡大を図っていきます。

【問合せ先】東村山市 環境・住宅課 TEL 042-393-5111



② 国分寺市

環境学習(環境アドバイザー・セミナー・動植物調査)

10月1日(日)に環境学習の一環として、市内の姿見の池とその水路において「アメリカザリガニ捕獲大作戦」を開催しました。市内在住の小学生とその保護者を対象に外来種が生態系に及ぼす影響などを学びつつ、このイベント体験によって自然に対する興味や関心を育むことを目的として、昨年度に引き続き実施しました。

イベントには、当市環境アドバイザーを招き、アメリカザリガニの生態や水辺の生き物等についての講義・観察会を行いました。天候にも恵まれ、親子で楽しみながら学べる場となりました。

【問合せ先】国分寺市 まちづくり計画課 TEL 042-328-2192



③ 新島村

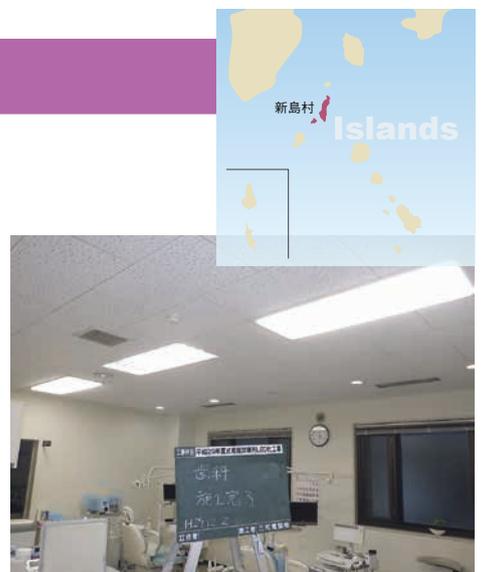
新島村LED化事業

本事業は、村施設の照明をLED化することによって、島内の省エネに寄与するとともに、住民に対してエコロジーを推進することを目的とする事業です。

今年度は、子どもから高齢者まで利用の多い式根島診療所の照明をLED化し、島内の省エネに寄与しました。ロビー、歯科、受付、診察室、玄関、外灯、トイレなど式根島診療所施設内の主要箇所ほぼ全ての照明のLED化を行いました。来年度以降も随時、村施設の照明のLED化を実施していきます。

本助成金によって、まずは村が率先して村施設を省エネ化することで、村全体でのLED照明などの環境に配慮した省エネルギー機器等の使用普及を推進していきます。

【問合せ先】新島村 企画財政課 TEL 04992-5-0204





多摩交流センターだより

インターネット
放送による

多摩発・遠隔生涯学習講座

NPO法人全国生涯学習ネットワーク・公益財団法人東京市町村自治調査会共催
後援：武蔵野市教育委員会



3・4月開催予定の講座案内

169回

題名

外航商船の元船長が話す商船と日本船員・海運の現実

日時 平成30年3月8日(木) 14:30から約1時間

講師 高橋 二郎 氏(海事補佐人、元外航航路船長)

内容 現代日本では、肉や果物などの食料から、電気・ガソリンを作る資源まで商船で運ばれていますが、身近でありながら意外と知られていない島国日本の海上輸送と、船員の仕事や船内生活の実情、船の種類と構造について話します。また、広い海でなぜ船同士が衝突するのかを、適用法から解説し、外国航路商船に日本籍船が急激に減少し、日本人船員がほぼいなくなった実情についても話します。



170回

題名 南極大陸内陸を探る 日時 平成30年4月12日(木) 14:30から約1時間

講師 渡邊 興亜 氏(国立極地研究所名誉教授)

○受講料 無料(ただし資料代100円)

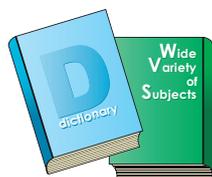
○メイン会場 多摩交流センター 第2会議室(申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。)

○サテライト会場 武蔵野市かたらいの道

○ライブ中継・VOD視聴について

多摩発・遠隔生涯学習講座のホームページ(<http://zsgn.dp-21.net/tsgn/>)から無料で、当日の講座の視聴(ライブ中継)や過去の講座を視聴(VOD視聴)することができます。

問合せ先 TEL 070-2648-3520(高原) TEL 0422-52-0908(菅原)



特定非営利活動法人

東京雑学大学

平成30年4月講義案内

(受講料は会員無料・会員外は4月12日を除き、1回500円)

番号	日時	講義テーマ	教授	会場
第1127回	4月5日(木) 14:00から	男の遺言・相続 ～父として夫としてすべきこと～	中野 浩太郎 氏 (行政書士)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1128回 ※	4月12日(木) 14:30から	南極大陸内陸を探る	渡邊 興亜 氏 (国立極地研究所名誉教授)	遠隔視聴(サテライト)会場 武蔵野市かたらいの道 (JR三鷹駅北口 徒歩3分)
第1129回	4月19日(木) 14:00から	明治・大正凸凹立体地図で見る東京	内田 宗治 氏 (フリーライター、元実業之日本社ブルーガイド編集長)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)
第1130回	4月26日(木) 14:00から	最近の世界で気になること	河東 哲夫 氏 (newsweek日本版コラムニスト)	西東京市民会館 (西武新宿線田無駅北口 徒歩8分)

☆申込みは必要ありません。直接会場へお越しください。

※第1128回は、第170回多摩発・遠隔生涯学習講座と共同で実施します。メイン会場は多摩交流センターです。

問合せ先 TEL 042-465-3741 (浅田) TEL 0422-52-0908 (菅原)

TAMA市民塾・日曜講座のお知らせ

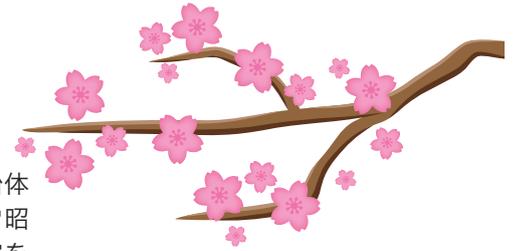
第113回

武蔵野の至宝「名勝 小金井」桜

【講師】 しいな とよかつ 椎名 豊勝 氏

樹木医として樹木の診断・治療に携わる。都内・多摩各自自治体の環境審議会、文化財保護審議会、緑化審議会等委員。国営昭和記念公園・自然観察ツアー講師。特にサクラと雑木林の研究をライフワークとしている。現在、一般社団法人 日本樹木医会会長・東京都支部長。

【内容】 大正13年、国の名勝に指定された「小金井桜」は、小金井市、小平市、西東京市、武蔵野市に跨る玉川上水の延長6kmの両岸に植えられたヤマザクラ並木です。玉川上水は、総延長43kmある羽村の堰から四谷までの上水路です。もちろん百万江戸市民の上水道であり、当時水利の乏しい武蔵野台地は焼畑や牧畜の原野でしたから、玉川上水の分水による新田開発で、幕府に新たな財源の確保が可能となりました。しかし、入植民は困窮しました。幕府はなんとか定住のための施策を展開するのですが、うまくいきません。そこで地方巧者の川崎平右衛門を登用します。そこに生まれたのが小金井桜でした。その軌跡と現状・未来を展望します。



日 時	平成30年3月25日 (日) 14:00~16:00
場 所	多摩交流センター会議室 京王線府中駅北口 府中駅北第2庁舎6階 (府中市寿町1-5-1)
申込方法	当日会場にお越しください。 先着50名までとさせていただきます。
受講料	無 料
問合せ先	多摩交流センター内 TAMA市民塾 TEL 042-335-0111

「多摩交流センターだより」の問合せ先

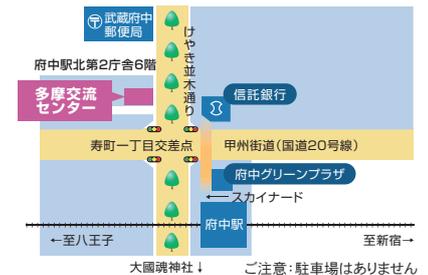
(公財)東京市町村自治調査会 多摩交流センター

〒183-0056 府中市寿町1-5-1 府中駅北第2庁舎6階

TEL 042-335-0100 FAX 042-335-0127

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (当調査会ホームページ内にコンテンツがあります)

☆ 多摩交流センターは、広域的市民ネットワーク活動の支援、多摩地域市民交流の場の提供等を目的として活動しています。



編集後記

- ピョンちゃん 平昌冬季オリンピックも2月下旬で終わり、3月9日から18日までは冬季パラリンピックが開催されます。皆さんも、日本選手団をTVの前で懸命に応援したのではないのでしょうか。いよいよ2年後は2020東京オリンピック・パラリンピックです。
- さて、年度末を控え、なにかと慌ただしく気が急ぎますが、吹く風には寒さの中にも春が感じられます。これからは三寒四温の言葉どおり徐々に暖かくなり、梅に続き桜が咲き始めます。寒暖の差が大きいため、体調を崩さないよう、気温に合わせて服を選び、上手に体感温度の調節を行うことが大切です。また、あのつらい花粉症が本格化する季節でもあり、体調管理に十分に気を配る必要があります。
- さて、当調査会も来年度の調査研究テーマが決まり、準備を進めています。テーマの概要は来月号でお知らせしますが、今後の自治体経営や地域の発展にとって課題となっている事柄など、将来に向けて考えておくべき大切な視点を含むテーマを選定しています。
- 今後の日本社会にとって、誰もが考える重要な課題は、人口減少を要因とする労働力不足とそれに伴う経済成長力や社会の活力の低下です。
社会の活力を維持するためには、経済活動や地域活動

の担い手を増やす工夫や効率的に業務を進める仕組みが必要です。

- 国の統計では就業者数(昨年11月値)が日本全体で6500万人台となり、過去最高だった約20年前(平成9~10年)のピーク時とほぼ同じレベルとなっています。人口減少が進みつつある現在でも、過去のピーク時と同じ就業者数を維持できているのは、高齢者・女性・外国人の活躍に負うところが大きくなっています。
- そこで来年度の調査研究では、今後の社会の活力を維持するために必要なテーマとして、人口減少対策や生産性の維持向上に資する「結婚支援を糸口とした少子化対策と地域活性化について」、「外国人がいきいきと暮らせる多文化共生について」、「AI社会の到来における基礎自治体について」(いずれも仮題)などに関する調査研究に取り組みます。
- 今上天皇のご退位と皇太子さまのご即位も近づき、来年度は、新たな時代の幕開けに向けて多忙な年となりそうです。
当調査会は、来年度も引き続き、自治体や地域が取り組む、地域づくりのお役に立てるよう活動を行ってまいります。

(M.N)

とっておきフォトスポット

第3回 武蔵野市

きれいな景色やおもしろいものを見つけたら、写真を撮りたくなるよね。

今回はわたげのボクが「武蔵野市役所北側市道沿いの桜並木」と「井の頭恩賜公園の桜」を紹介するよ。



武蔵野市役所北側市道沿いの桜並木

@WATAGE



武蔵野市役所と武蔵野クリーンセンターの間の道路の桜並木だよ。満開になると、交差する中央通りの桜並木と一体となって「桜のトンネル」と呼ばれているんだ。開花時期には、市役所隣の公園で桜まつりが開催されるよ(平成30年4月1日開催予定)。

撮影のPOINT!

- 例年、桜は3月末くらいから開花し始めて、4月上旬くらいにちょうど見頃を迎えるよ。
- 写真を撮る時は、歩道上の自転車や人の往来に気をつけて。
- 市役所の8階からも桜並木を見ることができるよ。



井の頭恩賜公園の桜

@WATAGE



平成29年5月に開園100周年を迎えた公園は、四季折々に吉祥寺を訪れる人の心を和ませてくれるよ。井の頭池の水は、今冬行われた「かいぼり」(今年で3回目)でちょうど綺麗になり、池に覆い被さるように迫り出した桜が水面に映えて、とても綺麗なんだ。毎年春には多くの花見客で賑わうよ。

撮影のPOINT!

- 七井橋から撮ると、池と桜が全体的に写るよ。
- 土日は込み合うから、特に橋の上では人の流れに気をつけてね。
- 朝の早い時間は比較的すいているよ。



[現地案内]

武蔵野市役所北側市道沿いの桜並木
「JR三鷹駅北口」から関東バス(鷹01)「北裏」・(鷹02)「武蔵関駅」・(鷹03)「田無橋場」行き「武蔵野市役所前」下車

井の頭恩賜公園の桜
「JR吉祥寺駅南口(公園口)」から徒歩5分
京王井の頭線「井の頭公園」から徒歩1分

[情報・写真提供]

武蔵野市生活経済課 0422-60-1832



写真を撮るときは、周囲の状況をよく確認し、柵を越えたり立ち入り禁止区域に入るなど、マナー違反にならないようにね!

【発行日】平成30年3月1日

【発行】公益財団法人 東京市町村自治調査会

【責任者】岸上 隆

〒183-0052東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館4F TEL 042-382-0068

ホームページ <http://www.tama-100.or.jp/> (本紙のバックナンバーをご覧ください。)



再生紙を利用しています。